

# 1. 財政について

啓誠会 田中 正剛  
代表質問 参考資料  
令和6年2月28日(水)

■表1：学校用務員及び学校給食調理員の職員数

	用務員			調理員
	正規職員	会計年度任用職員A	会計年度任用職員B	正規職員
66-69歳			5名	
61-65歳	19名	3名	1名	7名
56-60歳	27名	4名		19名
51-55歳	6名	1名		25名
46-50歳	—	1名		10名
41-45歳	—	2名		2名
36-40歳	—			
31-35歳	—	1名		
合計	52名	12名	6名	63名
(再任用除く)	(33名)			(56名)

学校給食調理員 会計年度任用職員 A：256名  
(令和5年9月1日現在)

## ■乳幼児等医療費助成及び子ども医療費助成

【令和4年12月末まで】

	乳幼児等医療費助成制度		子ども医療費助成制度	
	0歳	1歳～小学3年生	小学4年生～中学3年生	高校1～3年生
所得基準額以上		通院：800円、入院：3,200円	助成対象外(3割負担)	
所得基準額未満	通院：無料、入院：無料			

【令和5年1月から】

所得基準額以上	通院：800円、入院：3,200円			
所得基準額未満	通院：無料、入院：無料			

【未定】

所得基準額以上	通院：無料、入院：無料			
所得基準額未満	通院：無料、入院：無料			

※所得基準額：扶養義務者（父母等）全員の市町村民税所得割額の合計が235,000円

※通院：1医療機関あたり1日800円を限度月2回まで。3回目以降は無料。

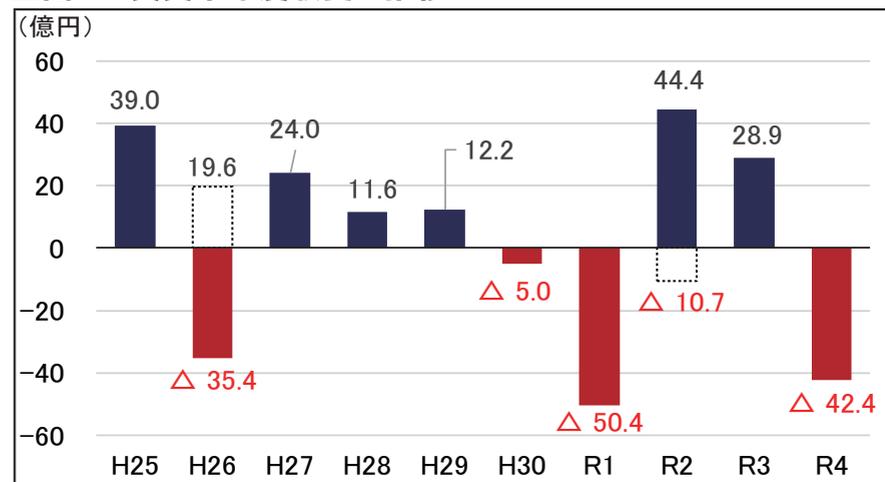
※入院：定率1割負担（上限：3,200円/月）。3か月を超える入院の場合は4か月目以降無料。

(参考) 子ども医療助成経費扶助費の当初予算の比較  
令和4年度当初予算：5億1393万4千円 ⇒ 令和5年度：9億8316万3千円

## ②実質単年度収支の推移（西宮市財政構造改善基本方針より抜粋）

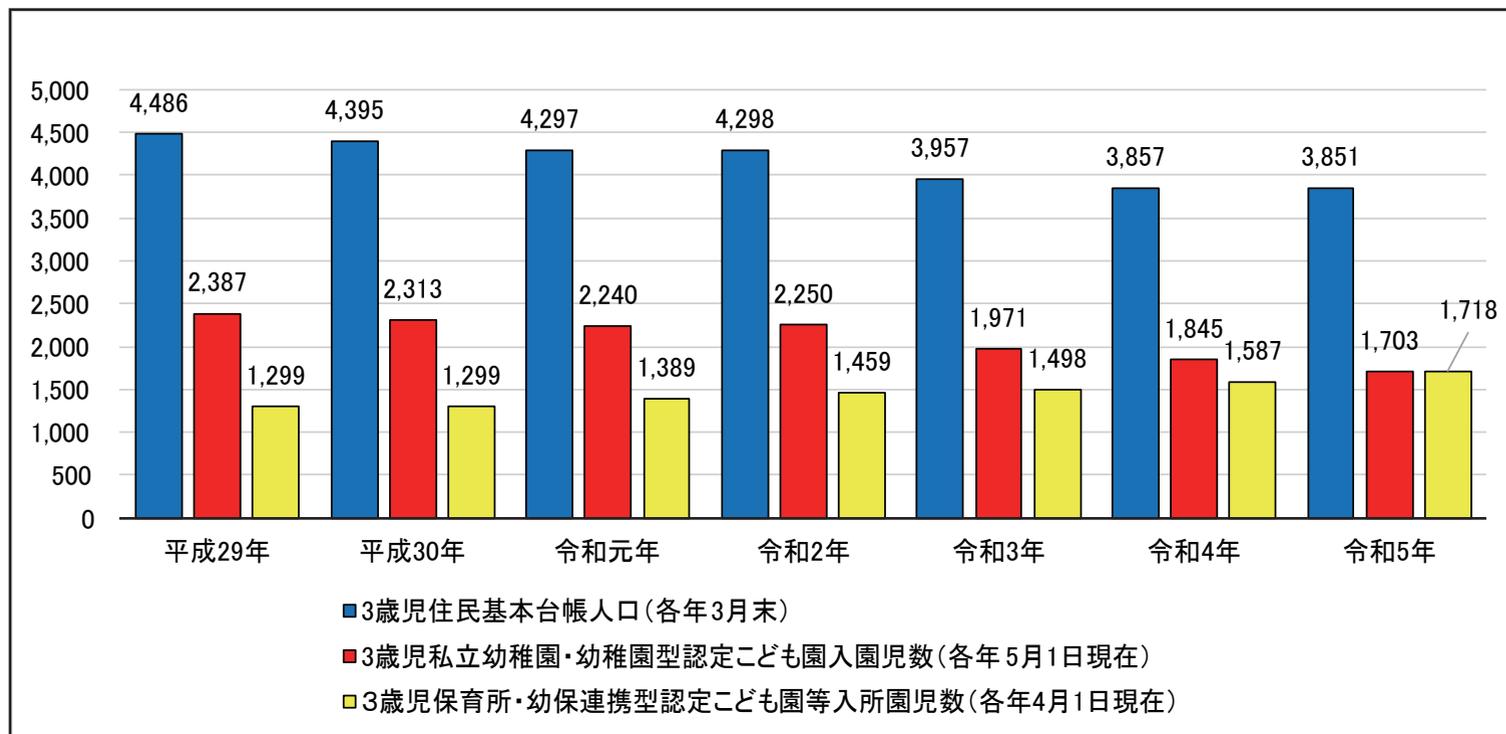
普通会計決算における実質単年度収支の過去10年間の推移は図のとおりであり、平成26年度は土地開発公社へアサヒビール工場跡地取得に係る55億5百万円の貸付を行ったため、35億4千3百万円の赤字となっているが、この貸付を除くと19億6千1百万円の黒字である。一方、令和2年度は貸付金の返還があったため、多額の黒字を確保することができたが、返還金を除くと10億6千8百万円の赤字である。これらを勘案して推移を見ると、平成29年度までは各年度とも黒字を確保できていたものの、平成30年度以降は赤字基調に陥り、令和3年度は、コロナ禍の影響もあり、国県支出金の超過交付額が多額に及んだことや地方交付税が手厚く交付されたことなどの特殊要因で黒字となったが、令和4年度は再び赤字に転じている。

■図1：実質単年度収支の推移



## 2. 子育て・教育について

■図2：3歳児の人口と私立幼稚園及び保育所・幼保連携型認定こども園等入園児数（3歳児）の推移



## 6. 保健医療について

■表3：統合新病院整備費概算の変化

	基本計画 (令和2年10月改定)
用地取得費	約55億円
設計・監理費	約14億円
建設工事費	約247億円
医療機器購入費	約70億円
合計	約386億円



	現時点 (市より聞き取り)
用地取得費	約55億円
設計費関係	約16億円
工事費	約419億円
医療機器購入費	約70億円
合計	約560億円

※上記のうち、市の負担は約100億円償還を伴う利息を加えると約119億円となる見込み。

■表2：総合教育センター附属西宮浜義務教育学校児童生徒数及び学級数の推移

		令和元年度 (西宮浜小・中)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (見込み)
児童 生徒数 (人)	全体	507	490	449	439	384	361
	特認校在籍者数(内数)	—	21	42	54	59	65
	特認校新規入学者数(内数)	—	21	22	19	12	19
学級数		24	22	20	17	17	17



■ 提案1 快適な駅前空間づくり

ー西宮の玄関口にふさわしい駅前空間づくりー

公民連携により駅前ロータリーを「トランジットモール※」化するとともに、駅改札口へと繋がる「ペDESTリアンデッキ」を設置し、交通結節機能の拡充と都市核にふさわしい駅前空間づくりを進めます。

駅前空間の再整備

課題

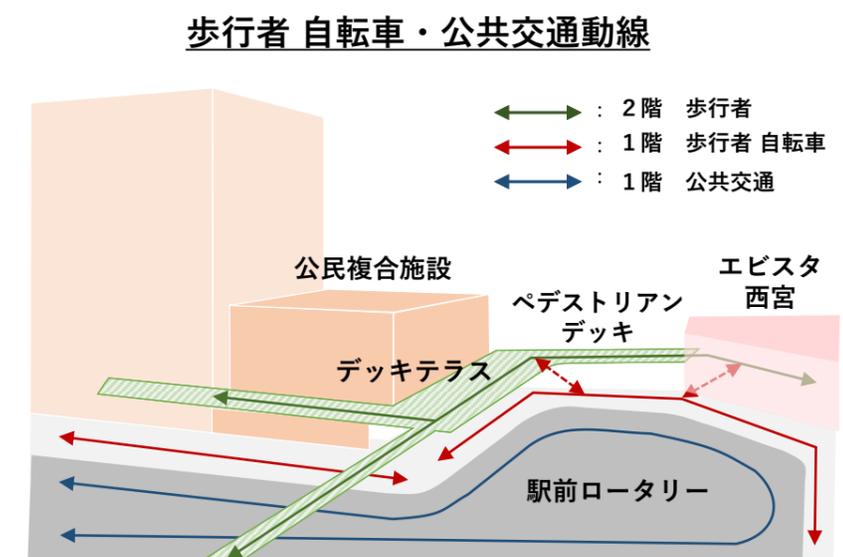
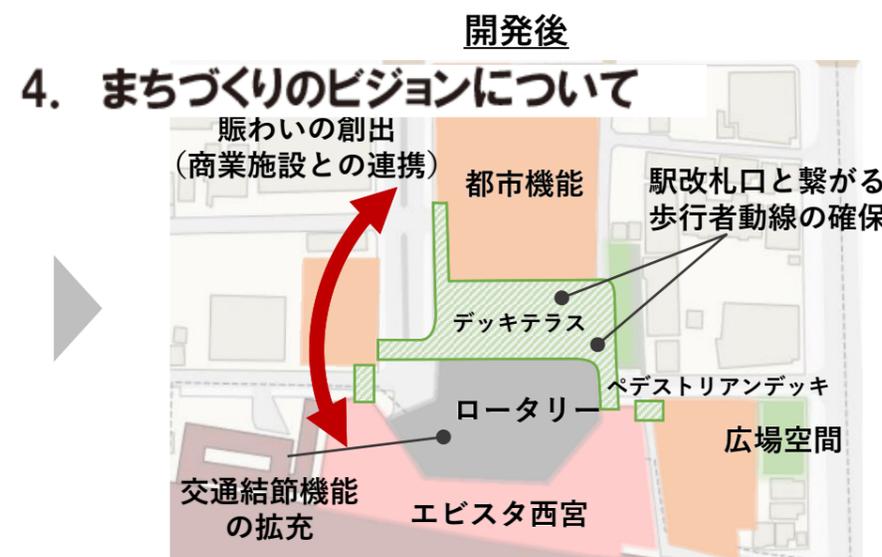
- バス乗り場が分散していたり、バスを降りた乗客が車道を横断して駅に向かうなど、乗換利便性・安全性といった面で交通結節機能が十分とは言えない
- 駅前立地でありながら賑わいに乏しく、ポテンシャルを活かした土地の有効高度利用が進んでいない

(2019年12月「本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)中間報告」より引用)

提案

◆ 交通結節機能の拡充と都市核にふさわしい駅前空間づくり

- 駅前立地のポテンシャルを活かす大街区化(細分化された街区の統合)とあわせて駅前ロータリーへの一般車の流入を排除し、トランジットモールのような人と公共交通を優先した安全で快適な交通環境を整備します
- ペDESTリアンデッキ等の設置により、歩行者動線と自動車動線を立体的に分離することで、安全性だけでなく、まちなかにおける回遊性や快適性を高めます
- 用地買収を伴う従来型公共事業による駅前広場整備ではなく、阪神電気鉄道が共有地を含む自社用地内において自ら駅前ロータリーを整備します



西宮の玄関口にふさわしい駅前歩行者空間

- ペDESTリアンデッキの設置により、阪神西宮駅の改札口と同じフロアレベル(2階)で公民複合施設(図書館・民間施設)へアプローチすることが可能となります
- 公民複合施設の2階にデッキテラス(まちなか広場)を設置し、市民の交流やイベント等に活用することにより駅前の賑わい創出を図るとともに、緑豊かな植栽により駅前空間に憩いの場を提供します



※トランジットモール…歩行者の安全性の向上と都心部の魅力向上等を図るため、自動車の通行を制限し、歩行者と路面を走行する公共交通機関(バス・タクシー)のみが通行可能となる空間

## 提案2 高度利用と賑わいづくり

### 一文教住宅都市西宮の新たな交流と賑わいづくり

駅直結となる新中央図書館の整備を契機として、文教住宅都市西宮の新たな顔となる空間を公民連携で共創し、多世代が交流する拠点を育てます。

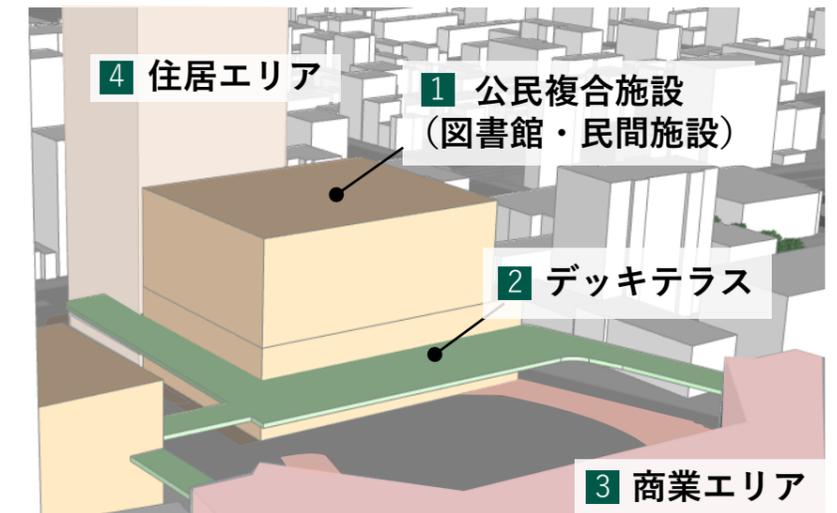
#### 駅前空間の高度利用

##### 課題

- 都市核に求められる多様な都市機能の集積が不十分
- 駅前立地でありながら賑わいに乏しく、ポテンシャルを活かした土地の有効高度利用が進んでいない  
(再掲)  
(2019年12月「本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)中間報告」より引用)

##### 提案

- 歩道状空地や敷地内広場など、ウォークアブルな空間整備と駅前にあわせた賑わい機能(図書館等)の誘致にあわせた規制緩和(容積率緩和等)により、駅前立地を活かした都市機能の集積と土地の有効高度利用を進めます
- 規制緩和に対する公共貢献として、西宮市のゲートウェイとしての魅力の向上に努めます



#### 文教住宅都市西宮の新たなシンボル

##### 1 公民複合施設

(多世代が集うサードプレイス)

###### ■ 新中央図書館に関する提案 (約5,000㎡)

- 駅直結の利便性を活かし、従来の図書館の概念にとらわれず、多世代の人々が気軽に訪れ、知識を深め、趣味を楽しめる新たな「サードプレイス」を提案します



ワークショップスペース等の併設  
(イメージ)

###### ■ 民間施設に関する提案 (約1,000㎡)

- デッキ広場に面する2Fにも配置し、新中央図書館や商業施設(エビスタ西宮)との相乗効果を発揮し、文教住宅都市の新たな顔にふさわしい賑わいを生む民間施設を提案します



子どもの集い場  
(イメージ)



産学官連携教育・文化拠点  
(イメージ)



スキルアップ、キャリア施設  
(イメージ)

※民間提案施設は参考事例になります

###### ■ その他提案

- 新中央図書館には、利用者が活用しやすい様々なICT関連機能の導入を提案します
- 市民の方々の生涯教育の場として活用頂けるよう、成長段階に合わせた最適な読書推奨を行う新たなアプリなどの導入を提案します



ぴたりえタッチ「絵本推奨AI」  
(西宮市北口図書館)

##### 2 3 デッキテラス・商業エリア

(多世代が憩う場づくりとエリア間の連携)

- 公民複合施設の2階には、本施設と阪神西宮駅・商業施設(エビスタ西宮)を行き交う人々の憩いの場となるべく、緑豊かな植栽を配したデッキテラス(まちなか広場)を整備します
- 市民が気軽に集えるイベントや商業施設(エビスタ西宮)と連携した取組みを行うなど、デッキテラス(まちなか広場)を活用し、駅前空間の賑わいの創出を図ります



デッキテラス(まちなか広場)  
(イメージ)



エビスタ西宮

##### 4 住居エリア

(まちなか居住の推進)

- 駅前立地を活かした高度利用により、歩いて暮らせる利便性の高いまちなか居住を推進するとともに、定住人口の増加にもつながる質の高い住環境を整備します
- また、強靱なインフラと停電時も電気の供給が継続できるエネファーム(家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)の活用やZEH\*対応等の検討を進め、人々へ快適で安全・安心な環境にやさしいカーボンニュートラルなライフスタイルをご提案します

※「ZEHゼッチ」とは「Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略で、住まいの断熱性能省エネ性能を向上させ、太陽光発電などの設備でエネルギーを創ることにより、空調・給湯・照明・換気などの一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅を言います。



住居例(イメージ)